



水力発電の保守やドローンを活用した測量などを手掛ける

水力発電に代表される、さまざまな水資源インフラ。それらの保守や調査、測量などを手掛ける(有)水光建設コンサルタントの、ユニークで先進的な業務を齋藤明男社長にうかがいました。

水

水力発電所土木設備の維持管理をてがける(有)水光建設コンサルタントは、東京電力O.Bであった初代社長が設立しました。

「社名の『水光』は、初代社長が黒川発電所のコンクリートの壁に埋め込んだ石版に刻まれた文字からつけたものです。詳しい意味は聞きませんが、業務内容が河川やダム(水)と発電(光)に関わっていますから、そういう思いをこめたのだと考えています」(齋藤社長)

社是社訓の「水五訓」も、初代社長が選びました。これは、戦国武将の黒田官兵衛(黒田如水)の教えで、「自ら動いて規範を示す」「障がいにあつてもそれに耐えることが力を伸ばす」「信じた道を突き進む」「嫌いな人でも良いところをみつけてともにがんばる」「与えられた環境の中で柔軟に変化し成長する」など、水の性質を人として守るべき教えに仮託したものです。現在でも、同社はこの「水五訓」の精神を守り

て経営されています。当初は水力発電所土木施設の保守管理業務からスタートし、平成になって業務の多角化を推進、現在では「調査業務」(水力発電所水路内部点検、河川や調整池などの水質調査など)「測量業務」(マルチコプター空中写真撮影、地上高密度レーザー計測、一般測量)も業務内容に加わり、まさに「水資源に関するさまざまな業務のコンサルタント」として、県内外から頼りにされる存在です。

「近年では測量部門で、産業用ドローンや3Dレーザースキャナーを導入して、3次元データの作成を行なっています。これは栃木県内では我が社がもっとも先進的な取り組みをしていると自負しています。また、脚光を浴びつつある小水力発電所の事業性評価や計

画段階での詳細な基礎資料の提供などについては、その信頼性を評価していただき、各発電事業者様からご依頼が増えつつあります」

現在では、水中ロボットを水中構造物点検などで活用しているとのこと。日々、技術革新が進んでいます。

最先端技術を導入しての業務革新は行政からも高く評価され、平成30年(2018)6月には栃木県知事から経営革新計画の承認も受けています。

「我が社などの部門も、今後ますます重要性が高まると予想されます。その中で、経験だけでなく新しいテクノロジーも積極的に導入し、よりきめ細かく社会の役に立てる業務を行なっていきたいと考えています」



いま話題のドローンもいち早く導入、測量業務で活躍



安全第一で、水力発電所などの定例巡視や河川バトロールを実施



ドローンで収集したデータは、詳細な3次元データとして活用される

水五訓

- 一、自ら活動して他を動かさむるは水なり
- 二、障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり
- 三、常に己の進路を求めて止まざるは水なり
- 四、自ら潔うして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり
- 五、洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり雪と変じ霰と化し凝しては玲瓏たる鏡となりたえるも其性を失はざるは水なり

Information

有限会社
水光建設コンサルタント
代表取締役 齋藤明男
創業/1974年
所在地/宇都宮市下荒針町3321番地12
☎028-648-3656(代)
https://suikou-cc.com



有限会社水光建設コンサルタント
代表取締役 齋藤 明男さん